

まんとさく



Niimi University

2020 Winter | <https://www.niimi-u.ac.jp>



【特集】

新見公立大学開学40周年 記念式典・記念講演会開催

地域共生推進センター棟紹介

各学科から

健康科学部 健康保育学科

健康科学部 看護学科

健康科学部 地域福祉学科

助産学専攻科・大学院看護学研究科

同窓会だより

同窓生の近況

研究紹介

健康科学部 学部長 上山和子

テーマ:小児外来における子どもおよび家族への看護支援に関する研究

News & Events

入試日程、オープンキャンパス ほか

新見公立大学開学40周年

令和2年10月11日に新見公立大学開学40周年記念式典及び記念講演会を新棟・地域共生推進センター棟で開催しました。

本学は昭和55年に全国初の広域事務組合立の短期大学である新見女子短期大学として開学しました。開学30周年の平成22年に新見公立大学看護学部看護学科の設置、平成29年に健康科学部に名称を変更後、平成31年に新・健康科学部1学部3学科体制（健康保育、看護、地域福祉）に改組しました。開学40周年となる本年9月、学生定員数735人の4年制大学に相応しい地域共生推進センター棟が完成しました。



記念式典の様子

午前中の記念式典では公文裕巳学長が本学40周年のあゆみを振り返り、建学の精神である「誠実・夢・人間愛」を基盤に、少子・高齢化や人口減少に直面する課題先進地の現場で人と地域を創る大学としての展望について感謝を込めて挨拶をしました。

また、地域共生推進センター棟の整備に合わせて美術品などを寄贈頂いた2団体と個人3人への感謝状贈呈を行いました。つづけて、学生が取り組んできた活動の一つである献血推進事業の功績に対し厚生労働大臣表彰状の贈呈式を行いました。

当日は、文部科学省 高等教育局大学振興課 課長補佐 加藤義一様、公立大学協会会長 鬼頭宏様、新見市長 池田一二様よりご祝辞をいただきました。



文部科学省 高等教育局大学振興課 課長補佐 加藤義一様 祝辞の様子



感謝状贈呈の様子



厚生労働大臣表彰状の贈呈の様子

記念式典・記念講演会開催

午後から「共生」をテーマに、国立がんセンター名誉総長で日本対がん協会会長の垣添忠生（かきぞえ ただお）氏による「がんと共に生きる社会」、日本総合研究所主席研究員で本学の客員教授も務める藻谷浩介（もたに こうすけ）氏による「コロナと共に生きる社会」を題目として記念講演会を開催しました。

「がんと共に生きる社会」

垣添 忠生氏

日本では2人に1人ががんになり、世界保健機関（WHO）の統計によると年間約960万人が亡くなっている。がんは遺伝子の異常によって発生し、3大原因として、喫煙、食事、感染症が挙げられる。自身もがんを2度患い克服した経験やがん闘病の末亡くなった妻を支えた経験を生かし、がん検診の受診率向上、がんサバイバーの支援、在宅医療、遺族の苦しみを癒すグリーフケアを生きている限り進めたいと思っている。がんも多彩なら人も多様である。医療従事者を目指すみなさんはそのことを念頭に置いて患者さんやその家族に向き合ってください。



学生の感想

大切な家族をがんで亡くした悲しみは、何年経っても癒えることがない。看護職としてがん患者との別れを経験する家族への心のケアの重要性を感じました。また、住み慣れた自宅で最期を過ごすことができるように生活環境を整え、ケアを行う家族へその方法を伝え、家族の負担を減らすために利用できる社会資源についても具体的に伝えたりすることが大切だと思いました。



「コロナと共に生きる社会」

藻谷 浩介氏

新型コロナウイルス感染について、日本国内だけでなく世界各国、各地域の感染者などの数字を省略化せずに絶対数を調べて比較すると見えてくるものがある。また今のところインフルエンザより死亡率は低く、世の空気とマスコミによりうわさ話と恐怖心がまん延した。コロナウイルスを侮ってはならないけども、子どもを産みたい人が産める社会、誰もが死ぬまで楽しく暮らせる社会づくりが重要。新見公立大学の皆さんには、未来を見つめ、勉強と実践を続けてほしいと思っている。

学生の感想

「正しく恐れる」ということは、世論に流されず、印象だけで過度に恐れないということだと思いました。「死ぬまで楽しく生きられる社会」を作ることができるのかはこれからの私たちにかかっています。恐れすぎて、家から出られていない人や、悲観的になって自殺をする人、コロナになった人を攻撃してしまう人は、正しい情報があれば行動が変わったのではないのでしょうか。情報社会になった今、情報に振り回されるのも情報をうまく活用するのも私たち自身です。そのことを心にとめて、今後の生活に生かしていきたいと思いました。

新型コロナウイルス感染症対策として、来場者を岡山県内在住者に限定し、会場入口では、来場者全員にマスク着用とサーモグラフィーで検温をお願いしました。講演会場である講堂では来場者のフィジカルディスタンスを保つために、座席を1席空けて座っていただきました。また、ご来場いただけなかった岡山県外在住の方たちや本学の学生にも視聴していただくため、会場での講演の様子は Zoom によるウェブ配信を行いました。

地域共生 推進センター棟紹介



アートのある通路

新見公立大学内に地域共生推進センター棟が完成し、令和2年10月11日に竣工式を行いました。

地域共生推進センター棟は新見市が進める地域共生社会構築の拠点施設として、開学40周年を迎えた大学の新たな学修環境や市民との交流の場を備えています。地下1階から地上5階までのフロアに講義室や研究室のほか、西日本随一の看護実習室とシミュレーター設備、400人収容の講堂、学生の学修、交流、情報交換の場として利用できるコミュニティカフェ、焼きたてパンとパスタを食べることができるサクセスキッチンや市街地を一望できるビューラウンジなどを設けています。

ご来場の方へのお願い

一般の方が利用する場合には新型コロナウイルス対策として、入口にサーモグラフィーで検温をしていただき、健康チェック表の記入が必要です。



地域共生推進センター棟

大学全体図



カフェスペース



講堂



看護実習室

健康科学部 健康保育学科

特色ある教育 — 表現技術の向上

健康保育学科では、表現力豊かな保育者を目指して、年間を通じて表現技術の向上に取り組んでいます。例年はプティ・コンセールやにみゆめのぼけっとなど、学科独自の行事があります。本年度は、オンライン開催となった「中・四国保育学生研究大会」に、2年生有志19名がダンスと合唱で参加しました。また、1年生は12月に授業「保育内容「表現」の指導法」の成果発表として、表現発表会を行いました。感染症対策を徹底しながらの練習には難しさもありましたが、試行錯誤を通して保育者としての表現力や応用力を培いました。



スイミー



おおきなななぶ

● 保育内容「表現」の指導法

「保育内容「表現」(身体表現)の指導法」の授業内発表会として、1年生57名全員が四チームに分かれ、音楽劇「スイミー」「おおきなななぶ」を新校舎の講堂で上演しました。歌、ダンス、身体表現、セリフなど、保育士、幼稚園教諭に必要な表現力を養うとともに、衣装や小道具、舞台背景、チラシなども学生たちで作成しました。これらは、幼稚園や保育園で子どもたちの表現活動を指導するにあたって、必ず求められるものばかりです。地域の子どもたちに観てもらうことはできませんでしたが、多くの先輩たちや教職員の鑑賞があり、授業の成果を存分に発揮することができました。

私は『おおきなななぶ』のグループリーダーをしました。衣装や舞台背景をつくる際、できるだけ、全員で集まり、互いに意見を出し合いながら作業を進めました。舞台背景によって役者があまり目立たないかもしれないという意見が出た時、皆で相談し、思い切って舞台背景のデザインを変える案を担当の先生に提案しました。

これらの作業の中で、私は劇での表現方法について学ぶだけでなく、仲間と協力し合うことの大切さを学ぶことができました。

(1年 小見山 和子)

● 中・四国保育学生研究大会に向けて

本年度の中・四国保育学生大会では、創作ダンス、合唱、リズムダンスの3つに取り組みました。創作ダンスでは、自由な発想を出し合いながら表現を豊かにしていく過程を体験し、身体表現の多様さについて学びました。また、合唱とリズムダンスでは、互いの声の響きや身体の動きを揃え、より美しい表現をつくりあげました。学生はこの活動を通して、通常の授業では意識しづらい「観客のための表現」を心掛け、実践することができていました。

表現技術の授業の中でリズムダンスや身体表現遊びを通して、全身を使って表現をする楽しさを知ることができました。授業以外にも、中・四国保育学生研究大会を通して表現発表の機会がありました。観客を引き込み、楽しんでもらうにはどうすれば良いか、話し合いを重ねながら一生懸命練習しました。手足の角度や視線など、細かい動きを揃えるのは難しかったけれど、完成した時には感動と達成感を味わいました。

これからも、子どもが身体表現を楽しみたい!と思えるような指導ができる保育者になれるよう、これからも表現技術を高め、子どもの理解を深めていきたいです。

(2年 高原 愛梨)



ダンス「希望」



ダンス「にーみんなたいそう」

健康科学部 看護学科

特色ある教育 -最新のシミュレーターを用いた演習と臨地実習

看護学科では、人間力・看護力を備えた地域で活躍する看護専門職を目指しています。2020年10月に地域共生推進センター棟が完成し、新しくなった看護実習室や講義室での学修を行っています。新型コロナウイルス感染症により臨地実習では実習施設と調整して日数を制限したりと臨地での体験も例年と比べ十分とはいえません。そのため、各領域実習では最新のシミュレーターを用いて、事例を展開し、アセスメント力、実践力の向上に取り組んでいます。今回は、新設されたシミュレーション室での演習の様子と9月より開始している臨地実習についてご紹介いたします。



シミュレーション室で事例の患者の状態を観察中の場面

事例：呼吸に関連する症状を示す対象者への看護
嚥下障害（飲み込み動作に障害がある）があるため、
経管栄養（鼻から胃へ管を挿入して、管から栄養を投与
している）の患者に、咳と息切れの症状が出現した。

●臨床援助技術演習

臨床援助技術演習の科目は、4年生を対象に開講しています。この科目の授業目的は、「臨床場面における対象の健康問題を理解しながら、科学的な根拠に基づいた臨地的な看護実践能力を養う。基礎看護技術について確実な技術を身に付ける」です。この度導入したシミュレーターを活用して臨床現場で使える援助技術演習を行っています。学生はこの演習を通して、状況を設定した対象に対して、総合的な援助を考え、実践することができていました。

■演習を終えて

演習では事前にグループメンバーで話し合いを行い、観察項目や呼吸が楽になるように排痰※を促すために必要な援助を考えました。シミュレーターを使って呼吸状態の観察を行い、体位の工夫と吸痰※の援助を組み合わせた実践ができました。臨床に近い演習となり、臨床での実践をイメージできる貴重な機会となりました。

(4年 玄馬 明歩)

※排痰：気道から痰を取り除くこと。

※吸痰：痰を吸引すること。



上：沐浴指導の一場面 下：沐浴指導の終了後



●3年生の臨地実習が9月よりスタート

臨地実習では、3年生63名が8グループにわかれて様々な領域の実習に取り組んでいます。今回ご紹介する母性領域の実習では、臨床の場で周産期の女性や新生児の看護の実際を学びました。沐浴指導では最初は緊張してごちない手つきだった学生も、実習先の指導者様、スタッフの皆様の暖かいご指導のもと、お互いに助け合いながら、何度も練習をし、出産後の母親の個別性を考えて、自分たちならではの保健指導ができるまでになりました。

■母性看護学実習を終えて

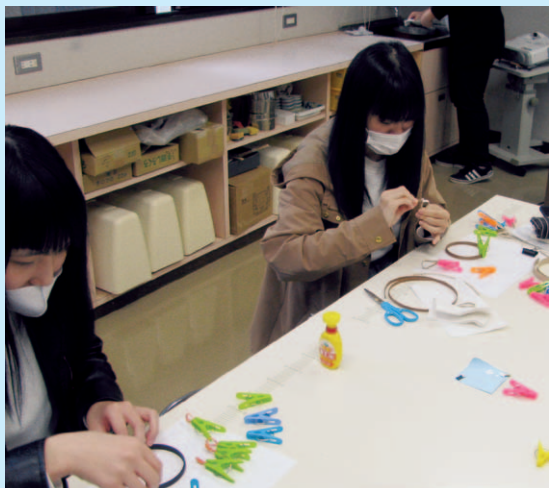
実習を通して、受け持たせて頂いた方から妊娠や出産を経験した上で感じた思いを伺うことができました。また、新生児に触れて、モデル人形では感じられなかった実際の様子や看護について経験ができ、貴重な体験となりました。沐浴指導では、短い時間の中で伝えたい情報や伝わりやすい方法についてグループで何度も話し合いながら準備をしました。そして本番では練習通りに実施することができ、受けて頂いたお母さんから分かりやすかったとお言葉を頂き、達成感につながりました。

(3年 護摩堂 音々)

健康科学部 地域福祉学科

特色ある教育 — 学びを深める2つの副専攻科目

地域福祉学科では、介護福祉士や社会福祉士の主幹資格を目指しつつ、技能を強化する資格や主幹資格の学びを更に深める副専攻があり、多彩な学修コースを設けています。介護福祉士では『地域介護専門士』、社会福祉士では『共生社会推進士』というコースを設け、地域で活躍できる福祉人養成を目指します。2年生後期から関連科目が始まっています。今回は、対象者の心身と生活の活性化を目指した「アクティビティ活動援助法」と、新見市内の同じ地域に3年間継続して関わっていく「共生社会実践演習」を紹介します。



クラフトテープでオーナメント作り
現場実践の時には、対象者の状態に合わせて必要な支援を行います。

● アクティビティ活動援助法

アクティビティ活動援助法は、「アクティビティワーカー資格」と副専攻「地域介護専門士」のための科目です。対象者の生活意欲を高める方法の一つとして、楽しみや生きがい活動の支援があります。創作活動を自ら体験し、対象者に必要な支援方法と効果を考えて授業の一コマです。

■ クラフト体験を通して

クラフト体験では、自分の好きな色を選び、それを好きなように配置することで、それぞれ個性を發揮した作品が出来上がりました。こうした活動を介護福祉施設や地域でおこなうことで、その人らしさを發揮し、生活の中に楽しみを生み出すことができると感じました。今後は、生活の中で「いきいき、わくわく」を感じられる支援技術や方法を学び、地域で介護福祉を開いていくことができる介護福祉士を目指したいと思いました。
(2年 松村 茉依)



上市地区史跡ウォーキング
素晴らしい秋空の下、地域の人々が大切にしている歴史や文化を教えてくださいました。

● 共生社会実践演習

共生社会実践演習は、共生社会を構築するための実践力を養うために、実際に地域でのフィールドワークを主体としています。その第一段階として地域踏査を目的に上市地区史跡ウォーキングを行いました。学生は、地域に実際に出て、地域の方とお話をさせていただくことで、地域理解の重要性に気づくことができました。

■ 上市地区史跡ウォーキングに参加して

上市地区には地頭方政所跡や祐清遭難の地など歴史ある場所が今もまだ残っており、歴史的観点からみる新見市の発展や、大切に継承してきた地域の歴史や独自の文化を知ることができました。共生社会推進士を取得する中で、一人ひとりが自分の暮らす地域に関心を持ち、暮らしやすくするために、何ができるかについて考えを深め実践していきたいです。
(2年 加地 純菜)

第30回

母校自慢

岡山県立
新見高等学校

2年
亀山 航汰



新見高校では主権者教育という地域の課題、まちづくりのビジョンを考察し、市議会への陳情を通して、地域社会へ参画する活動をしています。この活動により、それまで考えたことのなかった新見市の現状と課題について深く考えるきっかけとなり、新見のような中山間地域の方々は何を望んでいるのか、自分には何ができるかを考えたことで地域に役に立つ仕事がしたいと思うようになりました。高校や大学の学びを生かしながら、今後も少子高齢化が進む新見のような地域で役立つ介護福祉士、社会福祉士を目指して頑張ります。

助産学専攻科

助産学専攻科は、地域の女性の健康を守り、安全で、安楽な妊娠・出産の過程を支える人材を育成することを目指しています。学生は様々な講義や演習を通じて、周産期の女性や子どもを理解し、より良い支援ができるように助産技術を研鑽し、実習に臨んでいます。実習中は緊張の連続です。しかし、一人、また一人とお産の介助をする中で、学生一人ひとりがそれぞれの理想の助産師像に向かって着実に成長をしています。



モデル人形を用いた分娩介助の一場面

■実習を通じて

7月から実習が始まり、授業や演習で学んだ技術や知識を実習で結び付けながら、日々学びを深めています。私は授業や実習の中で、妊娠・出産・育児期のそれぞれに喜びがあれば不安や悩みもあることを知り、助産師は妊娠期から産後まで妊産婦さんの心に寄り添った関わりやケアを実践していくことが大切だと学びました。

妊産婦さんの小さな変化や言動に注意し、不安や辛さを理解してサポートすることが、安全・安楽なお産と今後の育児につながると思います。私は、小さな変化も見逃さず、相手に安心してもらえるような助産師を目指して今後も努力していきます。

(助産学専攻科 大本 紗弥香)

大学院 看護学研究科

本学大学院は、様々な地域における保健・医療・福祉分野の課題に取り組み、地域医療に貢献するとともに総合的な調整能力とリーダーシップを有する看護専門職者、看護研究者、教育者を育成することを目指しています。本学の大学院では、社会の多様なニーズに対応できる看護実践力の修得や“看護の知”を探究しています。



講義での発表の一場面 —つながりが育む地域医療—

■講義を通じて

桜花咲く4月、私たち院生5名は、期待と不安を胸に学び舎の門をくぐりました。

コロナ禍の中、戸惑いもありましたが先生方の丁寧なご指導とお心遣いにより充実した学生生活を送っています。大学院では、看護の原点、これからの見据えた看護専門職としての役割や社会貢献、地域共生社会のあるべき姿など、幅広い視点を養う機会となっています。さらに看護の枠を超えた新たな気づきや多くの刺激を受けています。授業を通して、“つながり”を育むことが、様々な課題を乗り越える要因であると感じています。優しく見守って下さる先生方のご指導をいただきながら、感謝の気持ちを忘れず頑張っていきたいと思います。

(我ら、つながり育む院生チーム 7期生一同)

同窓会 だより

同窓生の近況を
報告します。

同窓会事務局
からのお知らせ

同窓会開催のお手伝いをします

昨今の情勢により、同窓会を開催するのが難しいご時勢ではございますが、感染が落ち着き、開催される際は大学がそのお手伝いさせていただきます。

学部・学科と卒業年度及び開催時期などを本学学務課へお知らせいただければ、同窓会の案内を発送し、出欠を取りまとめ、同窓会幹事へ連絡をします。同窓会を企画されている幹事の皆様、ぜひご連絡をください。

ご寄付をいただきありがとうございました

本学創立40周年に向け、卒業生の皆様方に一口1,000円の寄付をお願いいたしましたところ、令和2年11月末現在、個人279人、2団体から総額974,870円のご寄付をいただきました。同窓会へ多額のご寄付をいただき、誠にありがとうございました。皆様のご寄付に対しまして心よりお礼申し上げます。

今後とも、会員相互の交流を深め、絆を深め、活発な同窓会活動を行うため、同窓会会員皆様のご理解ご協力及びご寄付を引き続きお願い申し上げます。

卒業生近況報告



遠香 栞
(新見公立大学看護学科 6期生)

大学を卒業し、兵庫県立淡路医療センターの救急病棟で看護師として働き始め、1年と半年が経ちました。淡路島は自然が豊かで、明るく住みやすい地域です。親身に相談に乗ってくれる先輩や同期がいて、日々学びながら楽しく過ごしています。今は自粛要請もあり、外出が難しいですが、先輩や同期と一緒に食事に行くことも息抜きの一つです。

私の所属する病院は、地域の中核病院として高度急性期医療を担い、観光で来られる方や、高齢の方が多く入院されます。現在、コロナ禍で面会制限もあり、更に緊急入院という状況で患者さんご家族の不安は増大しています。私は、精神面、社会面でのサポートのできる看護師を目指して日々頑張っています。



(写真右 田中さん)

田中 涼平
(新見公立短期大学地域福祉学科 21期生)

私は卒業後、4年制大学に編入して社会福祉士の資格も取りました。今年4月に賀陽荘に入社し、5ヶ月間様々な場所での研修を経て、9月からオープニングスタッフとして、小規模多機能型居宅介護『賀陽荘の家』で働いています。在宅支援をしていく施設で地域、家族の方との関わりが多くなる為、難しいことも多いですが、上司や同期入社仲間と相談しながら日々の仕事に励んでいます。

援助やケアを通して利用者さんの笑顔を見ると自分も笑顔になり、元気がもらえます。これからも利用者さんと共に笑顔で頑張っていきたいです。

新見公立短期大学の2年後輩(23期生)の塚田裕章君(写真中央)、横田裕己君(写真左)と同期入社です。3人で一緒に頑張っています。



矢野 由樹
(新見公立短期大学幼児教育学科 39期生)

私は4月から今治市の保育所で3、4歳児混合クラスの担任として働いています。コロナ禍で行事が中止になることも多く、初めての職場で戸惑うこともたくさんあります。

今は12月のお楽しみ会に向けて子どもたちと劇遊びに取り組んだり、合奏にチャレンジしたりしています。まだまだまとまらないところも多くありますが、子どもたちが自分なりの表現を楽しめるような場を提供できたらいいと思います。

保育現場の厳しさも実感し、命を預かる責任感を痛感していますが、子どもたちと泣いたり笑ったりし、一緒に成長していきたいです。



テーマ：小児外来における子どもおよび家族への看護支援に関する研究

— 病児保育(クリニック併設型) を活用した家庭療養(Home Care) の構築 —

健康科学部 学部長 上山 和子

現在、私は、新見公立大学健康科学部看護学科で小児看護学を担当しています。臨床で小児看護を実践してきた経験があることから、この科目を担当するようになりました。

子どもの特性は、症状の変化が速いことです。この特性を踏まえ、入院中の子どもおよび家族に対して適切に観察を行い、状態をアセスメント（査定）することで急変への対応および回復に向けた看護を実践し、臨床の大学病院では、主に小児の悪性疾患の看護や神経疾患の看護を実践してきました。子どもの病気は、子どもだけでなく家族への影響も大きいことから、療養中の子どもおよび家族への看護支援について追究しています。

近年、女性の就業率は上昇しており、雇用者数に占める割合は、平成2年には40.6%でしたが、平成28年には43.4%に上昇しました（図1）。

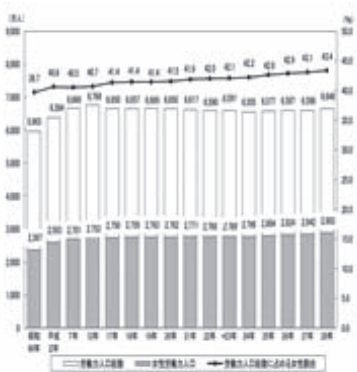


図1. 労働力人口および労働力人口総数に占める女性の割合の推移

平成22年には、「子ども・子育てビジョン」が策定され、保護者の多様なニーズに対応した様々な保育、地域における子育て支援の拠点やネットワークの充実を図り、延長保育、休日保育、病児保育など多様な保育の拡大が図られるようになりました。

子どもが急に発熱するなどの状態に陥ったときの家族のストレスは大きく、子どもが普段の健康状態を逸脱した場合の体制と家庭療養に向けた支援の検討が必要です。健康を一時的に逸脱した子どもに対する支援の一つである病児保育は、一般的に上気道疾患などの急性期疾患や感染症を対象にしており、家族は状況に応じて活用しています。

病児保育（クリニック併設型）に関する全国調査を実施し、預かる子どもの年齢は、保育所に預け始める年齢である1歳児が中心で、利用期間は2日間が一番多いことを報告しました。症状では、発熱、次いで咳などの呼吸器症状が多く、疾患別では、上気道炎やインフルエンザが多くを占めています。

このような背景から、感染症による病児への支援が必要になると考えます。インフルエンザでは、発熱期間中は家族が看るが解熱後は病児保育で預かる機会が多いと考えられます。病児保育は、呼吸器疾患や消化器疾患などによる感染症が原因で預かる機会が多いため、感染症対策と隔離室の確保が必要であり、これは病児保育の特徴といえます。

一方、急に病児保育室に預けられる子どもの不安に配慮した関わり方や、病児保育を退室後も継続して care が受けられるように、家庭療養に向けた支援として病状の観察の仕方や水分補給の方法などを具体的に指導していくことも、重要な役割といえます。

現在、病児保育は、看護職と保育士が協働しながら運営されていることが多く、病児保育を利用中の子どもは、家族が付き添っていない状況であり、見慣れない環境で1日を過ごしており、不安や感情を表出できるような関わりが必要です。

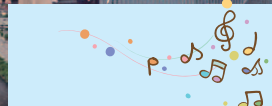
このことから、小児医療・看護と保育との協働によってより良い療養環境が整えられることは、子ども中心の care となり、子どもおよび家族にとっても療養生活への支援につながると考えます。

2017年には、地域における妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援拠点として「子育て世代地域包括支援センターの整備」が掲げられました。子どもの育ちをサポートし、家族への相談支援への役割として小児医療・看護および保育が協働することが望まれます。今後も多様なこれらの子育て支援方法について、追究を続けていきたいと思ひます。

厚労省：労働力人口及び労働力人口総数に占める女性の割合の推移。2020.11.28。
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/josei-jitsujo/dl/16b.pdf>

開学40周年記念キャンパスソング「明日へ」

開学40周年記念式典でキャンパスソング「明日へ」のDVDを上映しました。このキャンパスソングは情景描写ピアニストとして活躍している山路真美さんと学生有志が3回のワークショップを通して共同で制作しました。これから本学で学ぶ学生たちに長く歌い続けてほしいという思いが込められています。



News & Events

学内のお知らせ
イベント案内

2021年度入試日程

【学部】

■健康科学部

入試区分	実施学科	出願期間	試験日
学校推薦型 選抜	健康保育学科	2021 1/23(土)～1/28(木)	2021 2/4(木)
	看護学科		
一般(前期日程)	全学科	2021 1/25(月)～2/5(金)	2021 2/25(木)
一般(中期日程)	地域福祉学科		2021 3/8(月)
一般(後期日程)	健康保育学科 看護学科		2021 3/12(金)

【大学院】

■看護学研究科

入試区分	出願期間	試験日
一般・社会人特別 (後期)	2021 2/1(月)～2/8(月)	2/20(土)

オープンキャンパス2020

令和2年8月23日(日)、10月3日(土)、4日(日)の3日間、オープンキャンパスを実施しました。新棟・地域共生推進センター棟講堂で全体説明を行い、その後は学科ごとに模擬授業や学生相談会などのプログラムを実施しました。新型コロナウイルス対策として、入口にサーモグラフィーを設置し参加者全員に検温を実施し、相談会では高校生と教員及び学生の方に間にアクリルパーテーションを設置しました。3日間で約480人の高校生及び保護者の方に参加していただきました。

学生相談会の様子▶



◀ポスター
掲示コーナーの様子



▶介護ワーク体験の様子



第22回鳴滝祭開催

令和2年10月17日(土)、18日(日)の2日間、第22回鳴滝祭を開催しました。今年は「僕たちの色で未来をつくろう～NIIMI2020～」のテーマを掲げ、お笑いライブや仮装コンテストなどの工夫凝らしたイベントを企画し、模擬店を出店しました。また新型コロナウイルス対策として、来場者を新見市内在住者に限定し、来場者全員にサーモグラフィーでの検温と健康チェックを行いました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で開催時期を5月から10月に延期し、例年とは違う形での開催でしたが、来場者の方にも楽しんでいただき、素晴らしい2日間となりました。



鳴滝祭実行委員会

全学生にWi-Fi貸与

令和2年12月7日から遠隔授業を実施する際のインターネット環境の充実に向け、「モバイルWi-Fi(ワイファイ)ルーター」を全学生511人に無償貸与と事業を開始しました。通信料についても本学が負担し、遠隔授業に使うだけでなく、実習や郊外活動での静止画や動画の送信、課題の提出等インターネットへの接続環境を大いに活用して、大学での学びが主体的・対話的で深い学びになっていくように、大学としてもオンライン環境を積極的に整備していきます。



記者発表の様子



学生へ貸与している様子

イルミネーション点灯式

令和2年12月14日(月)にイルミネーション点灯式が行われました。

イルミネーションは毎年12月～1月末頃まで綺麗に輝きます。

今から10年前に当時学長であった難波正義先生の発案により始まったイルミネーションは、呼び掛けに賛同した教職員が寄付をし、後援会の援助もいただきながら購入しました。設置した当初は、壁の一部だけ照らす少し寂しいイルミネーション



イルミネーションの様子

でしたが、毎年少しずつ数を増やし今では市街地からでもはっきり見える立派なイルミネーションになりました。

イルミネーションは、周囲が暗くなる帰宅時間でも辺りを照らし、学生が安心して帰れるように、また地域の方にも喜んでいただけるようにこれからも続けていきます。

まんさく

2020年12月号
Vol.60 (Winter)



編集後記

朝の寒さが身にしみる季節がやってきました。新型コロナウイルス感染症流行により、皆さまも不安や不便を感じる日々をお過ごしのことと思います。この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますよう祈念いたします。

さて、本学は新・健康科学部がスタートして2年目を迎えました。年度当初は他の多くの大学と同様に、対面での授業実施が困難を極めました。幸い、オンデマンド型授業のための学修環境を整えることができ、コロナ禍であっても学生の学びを止めずに済みました。現在は適切な感染予防対策をしたうえで、ほとんどの科目を通常開講することができており、キャンパスに活気が戻っています。

キャンパスには新たに地域共生推進センター棟が加わりました。最新のシミュレーション室、大講義室をはじめ、コミュニティカフェや共同学習スペースなど、学生にとって大いに魅力的な施設設備を備えています。こうした環境も生かし、これからの時代を担う保育・看護・介護・福祉の専門職を送り出せるよう、教職員一丸となって教育・研究に邁進していく所存です。

今後とも、卒業生の皆さま、地域の皆さまには、変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。(久恒)

発行

新見公立大学

〒718-8585 岡山県新見市西方 1263-2

TEL.0867-72-0634

FAX.0867-72-1492

URL : <https://www.niimi-u.ac.jp/>

編集

広報委員会

広報部長

梶本 佳照

広報委員(50音順)

泉 宗孝 井上 弘子 久恒 拓也
平田 知子 藤原 悠三 本渡 葵
増井香名子 柳迫 三寛 山根 智幸
渡辺 未樹

奨学金

本学は高等教育の修学支援新制度の対象校になっています。該当の学生は授業料減免及び給付奨学金を受けることができます。また、日本学生支援機構などの奨学金制度があります。本学独自の奨学金制度については下表のとおりです。詳細については下記にお問い合わせください。

名称	種別	採用人数	金額	内容
新見公立大学 ふるさと育英奨学金 (申請先：新見公立大学)	給付	健康保育学科4人 看護学科5人 地域福祉学科4人	10万円 (年額)	学部入学生の内、入試成績が優秀であり、かつ本学が定める家計基準等を満たした学生に給付します。申請に基づき、入試種別ごとに選考します。
新見公立大学 奨学基金 (申請先：新見公立大学)	貸与 (無利子)	制限なし	30万円 (上限)	本学在学生が国内外の研修等に参加する場合、又は緊急な事情等により経済的に困窮した場合に貸し付けます。卒業までに返還する必要があります。
新見市看護学生 奨学支援金給付制度 (申請先：新見市)	給付 (条件付)	4人程度 (新入生・在学生含む)	10万円 (月額)	新見市内の医療機関等で、看護師として勤務しようという意思のある看護学生に給付されるものです。卒業後、新見市内の医療機関等に4年以上勤務する必要があります。(市長が認める場合は、新見市内の医療機関等に勤務するまでの間、新見市外の医療機関等に5年以上内従事することができます。)
新見市介護学生 奨学支援金給付制度 (申請先：新見市)	給付 (条件付)	4人程度 (新入生・在学生含む)	5万円 (月額)	新見市内の介護事業所等で、介護福祉士として勤務しようという意思のある介護学生に給付されるものです。卒業後、新見市内の介護事業所等に3年以上勤務する必要があります。

出身都道府県別在籍者数 (2020年10月1日現在)

(単位：人)

	大学					大学院		計	大学					大学院		計															
	健康 保育 学科	地域 福祉 学科	看護 学 科			助 産 学 専 攻 科	看護 学 研 究 科		健康 保育 学科	地域 福祉 学科	看護 学 科			助 産 学 専 攻 科	看護 学 研 究 科																
			1 年	2 年	1 年						2 年	3 年	4 年				1 年	2 年													
北海道		1		1		1	1										4	島根県	3	4	2	6	6	5	7	6			39		
宮城県						1												1	岡山県	17	16	9	13	23	19	5	10	5	2	124	
千葉県	1																	1	内)新見市	5	5	2	3	2	6	1	2	5	2	1	34
茨城県					1		1											2	広島県	3	3	3	4	10	10	9	8	1		51	
石川県	2		2	1			1											6	山口県	2	1	2	1	2	8	2	2			20	
福井県	3	1	1		1		1											7	徳島県	2	2	1	1	2	2	5			15		
長野県	3	1			1		2											7	香川県			2	5		2	1	1		11		
岐阜県					1		1											2	愛媛県	6	2	4	6	10	3	8	2		41		
静岡県		3		1	1		1							1	2			6	高知県					1	2		1		4		
愛知県		1	3			1	2											7	福岡県	1		1	1	1			2		6		
三重県	1						1							1				2	佐賀県	1				1		1			3		
京都府	2	1		1		1	2	1										8	長崎県		1	5		3	3	1	2		15		
大阪府					3	2	1											6	熊本県		1		2	2					5		
滋賀県					1													1	大分県	3		2			1	2	2		10		
兵庫県	5	5	7	2	7	12	13	14										65	宮崎県		2		2			1			5		
奈良県			1															1	鹿児島県	1	1	1	1	1	1	1			6		
和歌山県			1		2	1	1	1										6	総計	57	47	54	51	83	81	64	64	6	5	2	514
鳥取県	1	1	7	3	5	7	1	2										27													